

県下の交通事故 (2月28日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
52年	558件	9人	746人
51年	550件	18人	724人
比較	+1.5%	-50.0%	+3.0%



第35号

発行所

甲府市丸の内一丁目6-1
財団法人山梨県交通安全協会
TEL 甲府 (0552) 37-7827

五悪追放へ総ぐるみ

4月6日~15日 春の全国交通安全運動



こどもの事故防止は母親の愛としつけで

夜間の事故防止に重点

春の全国交通安全運動は、四月六日から十五日までの十日間、全国一斉に実施されます。本県がきめた運動の重点は、①歩行者・自転車利用者、とくにこどもの交通事故防止、②ゆくり運転の推進、③シートベルト着用等の推進、④夜間における交通事故の防止です。とりわけ昨年の事故分析の結果をふまえ、夜間における交通事故防止のため各種の施策を推進するとともに、事故原因の大部分を占める交通五悪の追放に県民総ぐるみの運動を展開することになっていきます。

ムーンライト運動

県警ではFP作戦

死亡事故を昼夜別に分けると、夜間の方が多く、五・七・八%を占めています。このため、今回の運動では夜間における交通事故の防止を重点とし、夜間事故の発生地点・区間の点検整備、夜間外出時に「目立つもの」の着用等の習慣づけ、飲酒運転防止の三悪ない運動「飲んだら乗らない、乗るなら飲まない、乗るなら飲ませない」の徹底を図ることになっています。県安協では、昨年の交通事故(ファイブ・ページ)で、五悪追放のため多数の警察

新入学児童の事故防止

交通ルール、具体的に

“手をあげる”だけではダメ

例年、春を迎えますと、こどもの交通事故が目立って増えてきます。この時期は幼児の戸外での遊びが多くなるのと、新入学児童が新しく歩行者として登場するためです。こどもを持つお母さんやドライバーにとっては、とくに注意しなければならぬ時期です。こどもはつねに大人のまねをするものですから、お母さんやドライバーが模範を示すと同時に、こどもたち

例年、春を迎えますと、こどもの交通事故が目立って増えてきます。この時期は幼児の戸外での遊びが多くなるのと、新入学児童が新しく歩行者として登場するためです。こどもを持つお母さんやドライバーにとっては、とくに注意しなければならぬ時期です。こどもはつねに大人のまねをするものですから、お母さんやドライバーが模範を示すと同時に、こどもたち



交通安全運動は黄色い羽根をつけて

黄色い腕章

新入学児童に贈る

県安協では、今年も県下の新入学児童に黄色い交通腕章を贈ることになりました。配分方法は、三月末日までに各警察署を通じて小学校に新入学の児童数だけお届けします。なお、甲府市、富士吉田市の分については富士銀行



ゆくり運転を訴えながらパレードする水戸黄門一行

から贈られることになっていきます。新入学児童たちが、通学にこの腕章をつけることによって、みんなが注意し合ひ、まだ交通になれない、小さいこどもたちが、交通事故にあわないようにしたいものです。

南部交母連が受賞

南部交通安全母の会連合会(遠藤喜代子会長)は、このほど東京で開催された交通安全母の会全国大会の席上、優秀な活動成績が認められて、全国交通安全母の会々長(吉川政枝さん)から晴れの全国表彰を受けました。

交通安全に寄付

県交通安全相談所相談員の神宮寺淳さんは、路上で一万円札を拾得して甲府署へ届けておいたところ、遺失者の届出のないまま満期となり、一万円は神宮寺さんに還付されました。神宮寺さんは「この金をなにか交通安全のために役立ててください」と県安協へ寄付を申し出ました。県安協では、同氏の厚意に感謝するとともに、寄付金は交通安全教育事業費として活用することになりました。

赤信号を待つ

心のゆとりを



交通信号が、青から青に変わるまでの時間は、それぞれの交差点やその時の交通量によって異なるが、大体八十秒ぐらいが平均とされている。このわずかな時間が待ち切れぬような長い時間に感じられるときもある。世の中が目まぐるしく動いているせいかもしれない。

それにしても、信号が完全に変わるまで、人も車も待てないものだろうか。何か追い立てられているような気持ち、すこしでも早く前方に進みたいという焦りに、みんながかられているようである。よく見かけることだが、信号が変わらないうちに、かえってスピードをあげて通りすぎようとする車、ものすごいブレーキ音を立てて右・左折する車がある。

このほど東京で開催された交通安全母の会全国大会の席上、優秀な活動成績が認められて、全国交通安全母の会々長(吉川政枝さん)から晴れの全国表彰を受けました。

同会は平素の交通安全活動が活発で、昭和五十年の交通安全全国運動中央大会でも、優良交通団体として全国表彰を受けています。

なお、県交母連会長の浅川くま乃さんも、総理府交通安全対策室長表彰を受賞されました。

このほど東京で開催された交通安全母の会全国大会の席上、優秀な活動成績が認められて、全国交通安全母の会々長(吉川政枝さん)から晴れの全国表彰を受けました。

同会は平素の交通安全活動が活発で、昭和五十年の交通安全全国運動中央大会でも、優良交通団体として全国表彰を受けています。

なお、県交母連会長の浅川くま乃さんも、総理府交通安全対策室長表彰を受賞されました。



いつも制限速度を守る

事故絶滅へ決意新たに

第十七回交通安全国民運動中央大会

交通安全国民運動を一層強力に展開し、本年も交通事故の死者をさらに減少させよう、第十七回交通安全国民運動中央大会が、一月十九、二十の両日、全日本交通協会と都道府県交通安全協会の主催のもとに、東京で開催されました。



常陸宮同妃両殿下ご臨席の中央大会

本交通安全協会と都道府県交通安全協会の主催のもとに、東京で開催されました。第一日は、平河町の日本都市センターと麹町会館で、地域・職域部会、運輸者・安全運転管理者部会、婦人部会、こども部会の部門別集会が開かれ、意見発表と研究討議が行われました。

鶴田会長が意見発表

婦人部会に、本県代表として出席した日下部交通安全会長の鶴田美枝さんは、「私たちの交通安全活動」と題して、母性愛と婦人の特性を活かした母親活動の実践と、その効果を発表し、参加者に強い感動を与えました。

わが町の交通安全

鶴田美枝



私達の住む日下部管内には、昭和四十七年に日下部交通安全会が設立されました。全戸加入による婦人約九千人を会員とし、山梨市など一市三町に十二支部を置き、その下に区を単位とする分会と、隣組を単位とする班を組織しています。会の目的は「家庭における交通安全のよき管理

宣言

長年にわたる国民一体の努力により、交通事故は、ここ数年連続して減少し、とくに昨年の死者は、一万人以下にとどまった。ここにわれわれは、第十七回交通安全国民運動中央大会を開催するにあたり、この貴重な成果の経験に鑑み、本年もさらに交通事故を減少させるため次の諸対策の一層の推進を誓う。

- 一 幼児と老人の保護、とくに幼児については母親ぐるみの安全教育
 - 二 小、中学生等に対する自転車安全教育
 - 三 高校生、青少年等に対する原動機付自転車および自動二輪車の安全教育
 - 四 運転者および安全運転管理者等に対する安全教育
 - 五 シートベルト着用の普及
 - 六 夜間の交通事故の防止対策
- 右宣言する
昭和五十二年一月二十日
第十七回
交通安全国民運動中央大会



交通安全賞章に輝く人

本県関係の受賞者は次の通りです。

小林英雄氏

第十七回交通安全国民運動中央大会の席上、交通安全会功労者として、警察庁長官、全日本交通安全協会会長から、交通安全賞章「緑十字銀章」を贈られた小林英雄氏は、「まったく感激です」とよろこびをいっぱいにみせていました。



雨宮和穂氏

優良運転者として「緑十字銀章」を受賞した雨宮和穂氏は、昭和二十年に大型二輪車の免許を取得。映東自動車、東京急行を経て三十三年牧丘タクシーに入社し現在に至っています。運転経歴三十二年のベテラン運転者で常に安全運転に心掛けています。



他県人の見た山梨の交通

マナーが低く多い乱暴運転
交対協の意識調査

県交対協では昨秋の全県交通安全運動の期間中、県境四カ所に交通安全指導所を設置した際に、県外運転者に対してはがきを配り交通問題についての意識調査を行いました。

県下一の
広いコースで 早い上達を!

伝統ある当校で
1日も早く免許証を あなたの手に

山梨県交通安全協会経営
公認 山梨自動車学校

八田村野牛島1828 山梨県運転免許センター内
TEL 05528-5-0752

「決して無理をしない」のが信条。もちろん無事故、無違反の模範運転者です。表彰式には奥さんの百合子さんも招待され、永年の調査を行いました。このほかに回答のあった百六通について分析したところ、県内を走行する県外車の六九%は観光を目的としたいわゆるレジャードライブであることがわかり、また山梨県では乱暴な追い越しや、無理な割り込みをするものが多く、なかにはわざと車を接近させて脅威感を与えるドライバーがあつて困る。と、本県の運転マナーの低さを指摘するものが多くありました。

去年の交通事故

5年連続して減る

全国上位の死者減少率

だが危険率はいぜん高い

全国の交通事故死者は、昨年遂に一人の割合を割りました。これは昭和三十三年以来十八年ぶりのことであり、本県の死者も一六人と一昨年より一七人減少し、五年連続の減少記録となりました。とくに、重点対策だった老人、子ども、歩行者など交通弱者の死亡事故が大幅に減少しました。しかし、人口十万人あたりの死者数では全国ワースト五位と、いぜんとして高い危険度を示しています。

死者の減少率 全国第一九位

昨年中の全国および本県の交通事故発生状況は次表のとおりで、件数、死者、傷者とも減少し、とくに、本県の死者は前年比一七名減の一六人となり、減少率は二・八%となり、全国第十九位でありました。昨年は、奥多摩摩落事故による松田さん一家の六名



夜間事故はなぜ多いか…… 速度違反と飲酒運転が多い

全国及び本県の交通事故発生状況

発生	対比	51年		50年		増減数	増減率(%)
		件数	死者	件数	死者		
全山梨	全山梨	470,643	4,192	472,938	4,306	-2,295	-0.5
全山梨	全山梨	9,734	116	10,792	133	-1,058	-9.8
全山梨	全山梨	612,802	5,736	622,467	5,928	-9,665	-1.6
						-192	-3.2

このうち、死亡事故の特性の傾向をみると次のとおりです。

老人、子どもの事故は減少

交通弱者といわれる歩行者、とくに老人、子どもの事故が大幅に減少しました。なかでも、子どもの死者の五六・三%減、老人は四〇%減で、これは大きな成果といえます。この

酒酔運転の死者が増

死亡事故の原因で一番多いのは速度違反で死者三三人、次いで酒酔運転者一九人、前年より酔っぱらい運転に因る死者が一〇人も多く、一一%と倍増したことは考えさせられる問題です。

屋上夜の事故が多い

死亡事故は、宵から深夜にかけて多発し、とくに、午後八時から十時までは一番多く起きています。

歩行中の死者発生状況

区分	歩行者の死	構成率		前年対比	
		歩行者中	全死者中	数	率
子ども	7	20.0%	6.0%	9	-56.3%
老人	12	34.3%	10.3%	8	-40.0%
その他	16	45.7%	13.8%	2	-11.1%
計	35	100%	30.2%	19	-35.2%

交通安全運動に寄せて

梅原 勝子

交通安全運動は、いつも老人や子どもなど交通弱者の保護を訴えています。昨年の交通安全運動では、グリーンジャイの大看板が甲府バイパスに立てられ、子どもを交通事故から守れ」とばかりに人目を

ひいていました。私は、いつも思うのです。交通のルールがほんとうに自分のものになっていくのだろうか、頭のなかでわかっているものが、なぜ体で行動できないのだろうか。

てくれているだろうか。子どもの交通安全教育は、一般的には学校が中心となり、主導性をもって行うべ



きものように考えられています。母自身も、本気で取り組んで交通安全を守ることが習性となるように、いつも気を配っています。

とくに、小さいお子さんの交通安全教育は、母親の特性と愛情を活かしたしつけが影響力があり、効果的だと

相談室

（問） キーを差し込んでしまった自動車、他人が無断で運転し、交通事故を起こしてしまいました。損害賠償の責任があるのでしょうか。（会社員）

（答） 無断で車を運転されたら、たとえ交通事故を起こさなかったとしても、損害賠償の請求をされることは、まったく迷惑な話です。しかし、次のような判決例がありますので、紹介しておきましょう。

無断で運転された車の持主の責任は？

横浜市内に住む山本君は二カ月前、自動車学校に入学し、ようやく免許を取りました。しかし、自分には車がないので、友人の加藤君が、免許を取ったら僕の車を貸して

みると、そこにはいつも加藤君が運転している車に損害賠償を請求しました。加藤君のお父さんは、たまたま山本君が友人の加藤君が、免許を取ったら僕の車を貸して

交通事故の相手方は、山本君と加藤君のお父さんに損害賠償を請求しました。加藤君のお父さんは、たまたま山本君が友人の加藤君が、免許を取ったら僕の車を貸して

取っておいた損害賠償請求の訴えに対し、裁判所は女性の主張を認め、慰謝料百万円、就職先を失った損失として三十万円などを含む百四十万円の支払を命じました。

福島県のある町に住む短大生の中村さん(22歳)は、スキー場から定期バスで帰る途中、バスが谷川に転落し、右足骨折で十カ月の重傷を負いました。治療の結果、スネに長さ十五センチの手術痕がみえ、残りの生活がみえ、精神的苦痛が大きいとして、慰謝料二百万円、就職先から得るはずだった給料百十七万円、合計三百二十九万円の支払いを要求しました。

位という高い位置におかれ、本県はいぜんとして危険度が高く、県民は危険な交通環境にさらされていることを示しています。

若い女性への損害賠償は高くなる傾向があります。交通事故で脚線美を失った女性が、バス会社を相手

は半狂乱となり、加害者の家族はこの補償問題に全員が苦しむ状態をドラマで描き、シートベルトの効果についての実験も見せてくれます。

四、アリンコクロちゃんのぼうけん

16ミリ、カラー、二十分、幼児・小学校低学年向け。道路では交通安全のルールをきちんと守らなければならぬことを、幼児や低学年の子どもたちに教えるものです。

新規購入映画の紹介

一、交通事故はなぜおこる

16ミリ、カラー、十八分、小・中学生、PTA、母親向け。

小学生に多い飛出し事故、車の直前直後の横断事故、路上遊びの危険、自転車事故等にポイントを絞って、これらの事故はなぜおこるのかという点を、わかりやすい実例や実験によって示しています。

三、非情の断面

16ミリ、カラー、二十八分、一般・運転者向け。

この映画は、追いつけぬがよる正面衝突の事故で、ペリットを着用していなかった加害者側では同乗していた娘が即死、運転者の方はペリットを着用していたので軽傷です。娘を失った母親

二、UFO国の交通安全

交通安全マンガ

交通安全マンガ

交通安全マンガ

交通安全マンガ

